



2026年6月25日

各位

会社名 アズマハウス株式会社
代表者名 代表取締役社長 東 行男
(コード番号:3293 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 真川 幸範
(TEL.073-475-1018)

(訂正・数値データ訂正)「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2026年5月15日に開示いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

2026年5月15日の開示後に一部訂正すべき事項が判明いたしましたので、「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」を訂正させていただくものであります。

2. 訂正の内容

①サマリー情報

【訂正前】

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

【訂正後】

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

②サマリー情報

【訂正前】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2026年3月期	百万円 1,357	百万円 △1,043	百万円 △259	百万円 3,488
2025年3月期	2,714	△1,440	△1,295	3,434

【訂正後】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2026年3月期	百万円 1,393	百万円 △1,080	百万円 △259	百万円 3,488
2025年3月期	2,714	△1,440	△1,295	3,434

③「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料 1 ページ

○添付資料の目次

【訂正前】

<省略>

(5) 連結財務諸表に関する注記事項14
 (継続企業の前提に関する注記)14
 (セグメント情報等)14
 (1株当たり情報)19
 (重要な後発事象)19

<省略>

【訂正後】

<省略>

(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計上の見積りの変更)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

<省略>

④「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料 4ページ

1. 経営成績等の概況 (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動によるキャッシュ・フローは、1,357百万円の収入(前連結会計年度は2,714百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益900百万円、非資金取引である減価償却費500百万円及び棚卸資産の減少額261百万円であります。主な減少要因は、法人税等の支払額366百万円、利息の支払額204百万円及び前払金の増加額87百万円であります。

【訂正後】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動によるキャッシュ・フローは、1,393百万円の収入(前連結会計年度は2,714百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益900百万円、非資金取引である減価償却費500百万円及び棚卸資産の減少額297百万円であります。主な減少要因は、法人税等の支払額366百万円、利息の支払額204百万円及び前払金の増加額87百万円であります。

⑤「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料 4 ページ

1. 経営成績等の概況 (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,043百万円の支出(前連結会計年度は1,440百万円の支出)となりました。主な減少要因は、有形固定資産(主として賃貸用不動産)の取得による支出895百万円及び定期預金の預入による支出136百万円であります。

【訂正後】

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,080百万円の支出(前連結会計年度は1,440百万円の支出)となりました。主な減少要因は、有形固定資産(主として賃貸用不動産)の取得による支出931百万円及び定期預金の預入による支出136百万円であります。

⑥「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料 12 ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,134,239	900,937
減価償却費	467,677	500,318
減損損失	9,546	-
のれん償却額	37,239	37,239
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△374	△1,533
受取利息及び受取配当金	△373	△2,936
支払利息	174,042	204,816
固定資産売却損益 (△は益)	△5,016	-
固定資産除却損	1,315	12,819
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△659	△1,065
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,678,170	261,403
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61,364	△11,617
前受金の増減額 (△は減少)	△61,770	38,725
投資有価証券評価損益 (△は益)	11,207	3,846
補助金収入	△13,500	-
固定資産圧縮損	13,500	-
リース解約損	1,046	-
前払金の増減額 (△は増加)	△1,582	△87,471
その他	△10,720	70,558
小計	3,372,623	1,926,041
利息及び配当金の受取額	373	2,936
利息の支払額	△183,912	△204,919
リース解約損の支払額	△1,046	-
法人税等の支払額	△473,720	△366,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,714,317	1,357,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,521,884	△895,049
有形固定資産の売却による収入	10,981	-
定期預金の預入による支出	△1,206	△136,169
定期預金の払戻による収入	65,500	-
補助金の受取額	13,500	-
その他	△7,638	△12,445
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,440,747	△1,043,663

【訂正後】

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,134,239	900,937
減価償却費	467,677	500,318
減損損失	9,546	-
のれん償却額	37,239	37,239
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△374	△1,533
受取利息及び受取配当金	△373	△2,936
支払利息	174,042	204,816
固定資産売却損益 (△は益)	△5,016	-
固定資産除却損	1,315	12,819
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△659	△1,065
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,678,170	297,914
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61,364	△11,617
前受金の増減額 (△は減少)	△61,770	38,725
投資有価証券評価損益 (△は益)	11,207	3,846
補助金収入	△13,500	-
固定資産圧縮損	13,500	-
リース解約損	1,046	-
前払金の増減額 (△は増加)	△1,582	△87,471
その他	△10,720	70,558
小計	3,372,623	1,962,551
利息及び配当金の受取額	373	2,936
利息の支払額	△183,912	△204,919
リース解約損の支払額	△1,046	-
法人税等の支払額	△473,720	△366,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,714,317	1,393,737
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,521,884	△931,560
有形固定資産の売却による収入	10,981	-
定期預金の預入による支出	△1,206	△136,169
定期預金の払戻による収入	65,500	-
補助金の受取額	13,500	-
その他	△7,638	△12,445
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,440,747	△1,080,174

⑦「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料 14 ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項

【訂正前】

記載なし

【訂正後】

(会計上の見積りの変更)

資産除去債務の見積りの変更

当事業年度において、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の物価の高騰や新たな情報の入手等に伴い、原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。この見積りの変更に伴い、資産除去債務残高が47,598千円増加しております。

なお、当該見積りの変更による損益計算書への影響は軽微であります。

以 上